真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	産後ケア事業		担当課・係	健康福祉部　こども家庭課　こども家庭課　母子健康係
政策名　No	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連するSDGs･DX	
施策名　No	1	子育て支援の充実		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	合計特殊出生率	%	1.09					1.54
	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	98.5					維持

事業内容

・生後1歳以内の子と母に対し、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができるよう、ディサービス型、宿泊型のサービスを医療機関等へ委託し実施。
・委託先は、医療機関や助産院11か所。
・令和6年度より利用料を免除。
・産後うつ傾向やサポート不足、保護者の養育能力の低さ、休息目的などから産後ケア事業を利用するケースが増え、さらに利用料を免除にしたことで、利用者増加につながっている。

前年度の課題（Check）

産後うつ傾向やサポート不足、保護者の養育能力の低さなどから産後ケア事業を利用するケースが増えている。母子の生命がおびやかされることなく、安全な養育ができるようにするためにも、きめ細かな支援と利用しやすい体制づくり、事業の安定的な提供が重要である。

7年度振り返り

【1】実績（Do）7年度に実施した事業

産後ケア事業
・生後1年以内の子と母に対し、心身のケアや育児のサポート等のディサービス型、宿泊型のサービスを提供する。
・委託医療機関等：11か所。
・利用件数　宿泊型　　92件、実人数　53人
　　日帰り型　37件、実人数　8人

【2】結果と課題（Check）

・前年度より利用件数は倍増しており、休息目的や出産後・育児の身体的な回復に不安を抱える方が必要な時期に産後ケア事業を受けられることで利用者のニーズも解決でき、安心した育児につながっているため、きめ細かな支援の安定的な提供を継続していく必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと

各種サービスを利用できる助産院等を増やせるよう、引き続き関係機関へ働きかけていく

(2) 長期的な計画で検討すること

質の高いサービスを継続するため、将来にわたり適正な人員と業務スキルを確保していく必要がある。